

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
 情報交流課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



ファイナリストと審査員などの記念撮影

地域課題を市の資源でビジネスに

■第2回牧之原市チャレンジビジネスコンテスト表彰式
 「第2回牧之原市チャレンジビジネスコンテスト」表彰式が10月27日、い〜らで開催されました。地域課題に対して本市の産業資源などを活用し、自らの事業を地域と共に発展させるビジネスプランを募集したところ、国内外から133社(うち海外25社)が応募。書類審査などを通過したファイナリスト13社が10月17日にオンラインでのプレゼン審査に臨み、表彰式で各賞が発表されました。大賞には、結婚式を通して地域経済の活性化を目指す「株式会社ParaLux」(福岡県)が選ばれました。

宝くじ助成で祭典用品などを整備

■自治総合センター助成事業
 遠渡区では8月、宝くじの社会貢献広報事業として一般財団法人自治総合センターが実施する「一般コミュニティ助成事業」を活用し、祭典などで使用する提灯や大太鼓などを整備。白井区と坂部第5町内会では、「地域防災組織育成助成事業」を活用し、消火活動で使用する可搬ポンプや吸管、管鎗、消防ホースなどを整備しました。これらの事業により、地域のつながりが深まり、コミュニティ活動が活発になることや、地域の安全安心を守るため、有効に資機材が活用されます。



遠渡区で整備した提灯や大太鼓、発電機、草刈り機など

自分と地域が喜ぶ仕事づくりを

■わたしたちの月3万円ビジネスin牧之原 プレゼン大会
 「わたしたちの月3万円ビジネスin牧之原 プレゼン大会」が10月6日、榛原庁舎で開催されました。月3万円ビジネスとは、女性が自分のやりたいことや子育てなどを両立できるよう、趣味や特技を生かして、月2日程度の働きで3万円程度を稼ぐちょっとしたビジネス。今年度から第1期生である受講生16人が全6回の講座を受講しており、今回はビジネス内容の中間発表を実施しました。受講生は、各自の事業内容や収支計画、今後の計画などについて発表しました。



各自のビジネス内容について発表する受講生



雨の中、勇壮に御船を担ぐ船若ら

海運興隆と海上安全を祈願

■神明神社の御船神事
 市指定無形文化財「神明神社の御船神事」(細江区)が10月8日に行われました。神事は、江戸時代後期から続いている、海運興隆と海上安全を祈願する伝統行事。船若と呼ばれる地域の青年が、長さ約2.6メートルの御船を担ぎ、「ヤッサー、コラサー」の掛け声に合わせて、御船を激しく前後に傾け、荒波を超えていくように神社の敷地内を練り歩きました。あいにくの雨の中でしたが、訪れた地域の人や観客は、神事に大きな歓声と拍手を送りました。



クラシック車の展示を楽しむ来場者

カルチャーつなぐ出会いの海へ

■BEACHNIC(ビーチニック)
 海に関するさまざまな文化や活動が集い、世代を超えて楽しめるイベント「BEACHNIC」が10月1日、静波サーフスタジアムで開催されました。これは、サーフィンとフォルクスワーゲンのクラシック車を中心に、サーフィンイベントやカーショー、ヨガ、ワークショップなど、さまざまなビーチカルチャーの交流を行うために初めて実施。ミュージシャンによるライブや市の特産品を販売する物販などが行われ、沿岸部の新たな情報発信、交流の場として多くの人で賑わいました。

国際メジャー大会出場を目指して

■ゴセカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニス2023
 国際テニス連盟公認「ゴセカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニス2023」が10月2日から8日まで、静波リゾート・スウィングビーチと榛原総合運動公園ぐりんぱるで開催されました。シングルス決勝では、斎藤咲良選手がThasaporn NAKLO選手(タイ)を下し優勝。ダブルス決勝では、阿部宏美・永田杏里組ペアが、茜郷里奈・茜郷幸奈選手ペアとファイナルセットのタイブレークまで持ち込んだ結果、接戦を制し優勝しました。



ダブルスの熱戦を制し見事優勝した阿部選手@・永田選手@

牧之原市と徳川家康のつながりを知る

■企画展「まきのはらを築いた人々Ⅳ～徳川家とまきのはら～」
 企画展「まきのはらを築いた人々Ⅳ～徳川家とまきのはら～」が9月30日から令和6年2月27日まで、市史料館で開催されています。9月30日から10月29日までの第1期は、市内の徳川家康ゆかりの古文書や史跡、文化財に関する資料や写真などを展示。市内外から訪れた来場者は、その歴史や功績を学びました。この企画展は、約1カ月ごとに展示内容が変わる予定で、一度入場券を購入すれば、開催中は何度でも入場することができます。



徳川家や戦国時代の文化財を鑑賞する来場者



国内外で活躍するアーティストの作品などを展示する「美術館」

「泊まれる美術館」で非日常空間を

■泊まれる現代アート美術館「Villa Revo」がオープン
 泊まれる現代アート美術館「Villa Revo(ヴィラレボ)」が9月30日、市内にオープンしました。市内でアパレルブランドを手がける本杉圭吾氏が自宅を改装し、主に1階は美術館、2階に宿泊機能を備えた施設です。宿泊予約がない場合は通常の来館が可能。国内外で活躍するアーティストの作品や、同氏がこれまでに集めたコレクションに囲まれた空間で、ゆったりと滞在しながら非日常空間を体感できます。来館は予約制で、「Villa Revo」公式サイトから受け付けています。